

No	事業名等	意見等	回 答	担当課	素案修正の有無
1	P46 「(10) 病後児保育事業」 P56 「2-13 病後児保育事業」	病後児保育事業は、量の見込みが少しずつ減っているが、これは、看護師が確保しづらい等、何か理由があるのか。	ニーズ調査において、これから病後児保育を利用するかもしれないと答えた人の数をベースに見込んだ量である。そのため、「看護師等を確保できないから利用できる人はこれだけである」ということではないため、素案のままとする。  ※「量の見込み」と「確保方策」という言葉が分かりにくいと考えるので、素案P41の3行目を下記に修正する。  各事業について令和2年度から令和6年度の「量の見込み」(=どのくらいの需要があるのか)「確保方策」(=いつどのくらいサービスを提供するのか、事業を実施するのか)について定めている。	子育て支援課	有
2	P51 「(5) 外国につながる幼児への支援・配慮」	外国人住民の子育て支援及び受け入れ支援・連携について伺いたい。市としては、どのようなサポートをしているのか。	多言語に通じた人、バイリンガルの人を市の職員として雇っているわけではない。そのため、既に市内に住んでいる方で、同じ言語を話す方を支援者として見つけて、その方を介して、いろいろな情報提供をしたり、困りごとがないかということ把握して、繋ぐように努めているところではある。	子育て支援課 教育センター	無
3	P55 「2 乳児期・幼児期」	0歳から1歳までの間に毎月1回葉書がお母さん宛てに届くサービスについて支援センターからの発信でイベントを載せてもらえるとうい。	葉書で行うのか、メール等で行うのか、媒体は検討しながらも、お子さんの月齢に合わせた内容で情報発信ができればよいと考えている。素案P59 4-2の実施にあたって参考とする。	子育て支援課	無
4	P55 「2 乳児期・幼児期」	各事業の存在を知らないで、不安の中育児をしている方もいるのではないかなと推測すると、そのような方たちをどのように支援するかということが課題になる。	乳児家庭全戸訪問事業では、お子さんが生まれたら、保健師等が必ず訪問し、お子さんやお母さんの状態をみて、気になるご家庭ではないか確認している。  子育て応援ガイドブックを配布したり、ホームページやブログ等を活用し情報発信に努めている。素案P59 4-2の実施にあたって参考とする。	健康づくり課 子育て支援課	無
5	P55 「2-4 離乳食教室」	ベビーフードとの付き合い方を教えていただければ嬉しかったということがあったので、提案させてもらいたい。	ベビーフードの活用方法について、担当する管理栄養士に話を伝えたいと思う。  地域交流支援センター事業実施にあたって参考にする。	健康づくり課 子育て支援課	無

No	事業名等	意見等	回答	担当課	素案修正の有無
6	P55 「2-9 ブックスタート事業」	ブックスタート事業であるが、現在行っているのか。	4か月児教室にあわせ行っている。	生涯学習課	無
7	P57 「3 学齢期・思春期・活動期」	各事業をどれくらいの頻度で実施していくのか記載することで、計画における事業の見え方が変わってくるのではないかと。	利用者の実際の行動に結びつくような記載の方法に関するところであると思うので、これは、表現の方法を検討してまいりたいと思う。計画を実際の事業に結びつける上では有効と考え記載する。	子育て支援課	有
8	P57 「3-3 教育相談事業」	いじめ・不登校・引きこもり関係について学校の中での相談のほか、SNSでも相談を受け付けているかと思うが、それ以外の受付方法、例えば市役所の相談窓口等はあるのか。SNSや電話以外の相談方法を工夫して欲しい。	市の教育センターでも電話やメールによる受付を実施しているが、それ以外も検討する。	教育センター	無
9	P58 「3-11 放課後健全育成事業(放課後児童クラブ)」 「放課後ルーム(放課後子供教室)」	放課後の児童の居場所に関するところで、家に帰れるまでの時間帯をスポーツに充てる形で関わっていければ、もっと活発になるのかなと思った。	スポーツ少年団や地域でのスポーツ活動との連携については、放課後子供教室で地域にいるスポーツの指導者等の力を借りて、これから居場所をつくっていけたらと考えている。	子育て支援課 生涯学習課	無
10		何か困ったことがあったときに相談先として「子育ての話 何でも聴きます窓口」の周知を図るといい。	素案P59 4-2の実施にあたって参考とし周知を図る。	子育て支援課	無